

桜木東だより

校訓
夢をもち
よく学び
よく遊び
よく鍛えよ

熊本市立桜木東小学校
発行日 令和6年6月3日
校長 片山 明光

自ら判断し行動するために!!

本校では昨年度の途中からノーチャイムで学校生活を送っています。ノーチャイムで生活することの利点として、チャイムに頼らないことで「自己管理能力」を向上させることができると考えています。時間を自分で確認し、次の行動に移るための準備をする習慣が身につくことで、自律性や責任感が育まれます。これは将来の社会生活や職業生活において重要な資質・能力だと考えています。またチャイムがないことで、学習環境の静けさが保たれます。チャイムの音は時に子どもたちの集中を妨げることがありますが、これをなくすことでより落ち着いた環境で学習することができます。静かな環境は子どもたちのストレスを軽減し心理的な安定感ももたらすため、学習効率の向上も見込めます。そのためにも学校のどの場所からも時計が見えることが必要になってきます。ところが学校の端のブランコなどの遊具がある「森の都」で遊んでいると時計が見えないという声があがってきました。また中庭にも時計がなく時間が分かりづらいということが分かりました。そこで学校主事の塚本先生にお願いをして、時計を設置してもらいました。屋外用の時計は購入するとかなりの高額になるので、雨にぬれても大丈夫なように時計を入れるケースを作ってもらって設置しています。これで皆さん、思いっきり遊べますね。



「森の都」に設置された時計



中庭に設置された時計

1年生がiPadで…

1年生の中には小学校に入学しての楽しみの一つに、一人1台のタブレット(iPad)の提供があるのではないのでしょうか。本校でも、4月に一人一人のアカウントを発行して準備をし、5月のゴールデンウィーク明けに1年生に配布しました。するとその1, 2週間後には、「タブレットで校長室の写真を撮らせてください」とやってきました。

なんでも学校内で撮った写真をもとにクイズを作り、それを学級の友達に紹介するという国語と生活科(「学校探検」)を合わせた授業ということでした。まだひらがなの練習をしている子どもたちが一方では全員がタブレットを使って学習に生かしている、何か不思議な感じがしました。タブレットは個別化された学びだけではなく、このように協働的な学びのツールとして使用できコミュニケーション能力の育成にも非常に役に立つと感じました。そしてそれが子どもの学びを豊かにし将来の可能性を広げることが期待できます。今後も様々な場面で学習の道具としてタブレットを活用してまいります。



校長室で運動会の優勝カップの写真を撮る児童